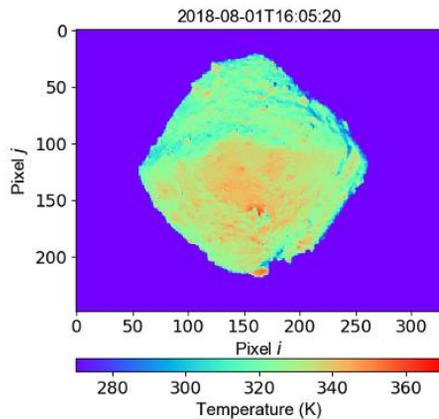


教員名と研究室名

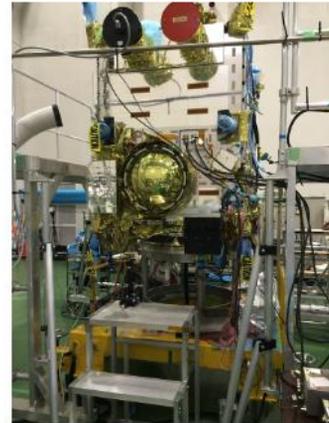
准教授 荒井 武彦 / リモートセンシング研究室

主な研究内容と目指す将来像

リモートセンシング装置を開発して、人工衛星や探査機に搭載し、ターゲットを観測して、データ解析を行って、科学成果を挙げます。近年では、小惑星探査機はやぶさ2に搭載した中間赤外カメラTIRや近赤外分光計NIRS3を開発しました。遠隔からの観測を行うリモートセンシング手法によって、太陽系惑星の組成や物理状態を明らかにし、地球や生命の起源を明らかにします。



はやぶさ2搭載TIRでリモート観測した小惑星リュウグウの中間赤外画像



はやぶさ2地上試験の様子. 上の2つの目玉はスタートラッカ、中央はサンプルカップセル、左側がNIRS3

研究キーワード

リモートセンシング/地球惑星科学/惑星探査/センサ開発
ローバ開発/コンピュータビジョン

研究の魅力・面白さ

- ✓ 人類未踏の世界を初めて垣間見ることができます。
- ✓ 宇宙を探査することによって、生命の誕生の秘密に迫ります。

受験生へのメッセージ

大学には、いろいろな装置がそろっていて、自由に面白い研究・発明ができます。今から体を鍛えて、大学での生活に備えましょう。テストで90点以上とる習慣をつけると良いです。

連絡先

araitakehiko@maebashi-it.ac.jp